

Weekly コラム

令和3年9月28日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

外国人が住みたい・働きたい国 ベスト・アンド・ワースト

海外に住む外国人のためのコミュニティ形成支援サイト「インターネーションズ」が毎年まとめているランキング「外国人が住みたい・働きたい国ベスト・アンド・ワースト」の最新版を公表しました。

世界 59 カ国、地域に住む 174 カ国からの外国人居住者 1 万 2420 人を対象にした調査で、滞在先での生活を 37 の観点から 7 段階で評価してもらったそうです(調査実施 2021 年 1 月)。

各観点の評価を組み合わせて 13 のサブカテゴリに仕分け、それを使って「生活の質」「定着の容易さ」「仕事環境」「家計の状況」「生活費」という 5 つの指数を導き出し、外国人居住者 50 人以上の評価(回答)が得られなかった国はランキングから除外したとのこと。

まず、ランキング首位は 3 年連続で台湾が入ったそうで、2 位以下はメキシコ、コスタリカ、マレーシア、ポルトガルだったそうです。逆にワースト 10 では、10 位: マルタ、9 位: インド、8 位: トルコ、7 位: キプロス、6 位: 日本、5 位: エジプト、4 位: ロシア、3 位: 南アフリカ、2 位: イタリア、1 位: クウェートというランキング評価となったそうで、ワースト 9 位のインドは人口増加(13 億 6641 万人)やインフラ整備の向上により将来の経済環境の成長が期待できるとの見方からワーストランキングに入るのは意外との声もあります。日本は外国人から見ると

ワークライフバランスが世界最悪で、生活費は意外にも高くもなく低くもないそうですが、給料が安いとの不安で外国人にとって家計の状況が厳しく世界 54 位だそうです。

8 位のトルコはエルドアン大統領を「独裁者」と名指しするなど、国政に対する疑問を投げかけられており、本調査でも「政治的安定性の評価で世界 54 位」と最低レベルの結果となっています。3 位の南アフリカはアフリカ大陸では富裕層の多い国として知られていますが、海外からの移住者にとっては生活が厳しい環境となっているため、家計の状況は 55 位、生活費は 28 位、仕事環境は 54 位であることから、給料や雇用機会が薄いとのことだそうです。2 位のイタリアは先進 7 カ国(G7)の一員で、ローマ時代の歴史遺産が集中し、世界トップレベルのアパレルデザイナーが集う文化大国ながら、気候や旅行といった観光視点の評価は高いので、外国人にとっては住みにくい、働きの悪い国の最もたる例ということですが、仕事さえあれば外国人にとっても非常に楽しい国ということになるかもしれないとのこと。

そして、1 位のクウェートは 1 人あたり GDP は世界 41 位(2020 世界旅行)、失業率 1.2%(2019 年)と経済的に恵まれた国なのですが、国民の 85% が国家公務員あるいは国营企業社員という、石油部門を中心とした硬直的な経済環境下に置かれているそうです。生活の質は世界最下位、外国人は他人の扱いで「アットホーム感」「親しみやすさ」いずれも最下位。仕事環境や家計の状況も厳しく、生活費もきわめて高いとのこと。我々から見る日本と外国人から見る日本は違うのかとギャップを感じますが、次のワーストランキングでは圏外となれるように、外国人からみても魅力ある国を目指していかなければならないのかもしれないですね。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。